
友達

風矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達

【Zコード】

N3403Y

【作者名】

風矢

【あらすじ】

私は独りが嫌いです。

どんな時でも、何をするのでも誰かと一緒にないと気が休まりません。

だから、私は独りにならないように友達を作るんです。

私は独りが嫌いです。

どんな時でも、何をするのでも誰かと一緒にないと気が休まりません。

だから、私は独りにならないように友達を作るんです。

私が幼い頃のお話です。

「一緒に遊ぼう!」

と声をかけてくれた男の子がいました。

私はとても嬉しくなってその男の子と日が暮れるまで遊びました。

しかし、日が暮れてしまつたらお別れです。

だからその男の子を友達にしました。

私が学生の頃のお話です。

尊敬する先生がいました。

その先生は私が知らなかつたことを沢山教えてくれました。

私はその先生が大好きでした。

しかし、先生は突然学校を辞めると言い出したのです。

私はとても悲しくなりました。

もつと先生から色々なことを学びたかったのです。

私は先生を呼び出し、友ダチにしたのです。

私が社会人になつたばかり頃のお話です。

とても好きだった恋人がいました。

恋人がいると私は力が湧いてくる気がしたのです。

しかし、ある日のこと。

その恋人が浮氣をしているという噂を耳にしたのです。

私は恋人を追及しました。

恋人は言いました。

「そんな噂より、僕を信じてくれないか？」

私はその言葉を信じていました。

私の目の前で、恋人と仲良く歩く浮氣相手を見るまでは。

不思議と浮気相手には何の感情も沸きませんでした。

ただ、恋人だけは失いたくありません。

だから、これまでと同じように恋人をトモダチにしたんです。

私は独りではありません。

沢山のトモダチに囲まれて幸せです。

男の子はそろそろ原型を留めていませんでした。

先生は完全に腐っていました。

恋人は今でも私の傍にいます。

例え、動かなく、息をしていなかつたとしても。

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3403y/>

友達

2011年11月8日05時23分発行